

佐賀県の地震活動概況（2025 年 2 月）

令和 7 年 3 月 7 日
佐賀地方気象台

【2 月の地震活動概況】

2 月に佐賀県内で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（1 月は 3 回）。

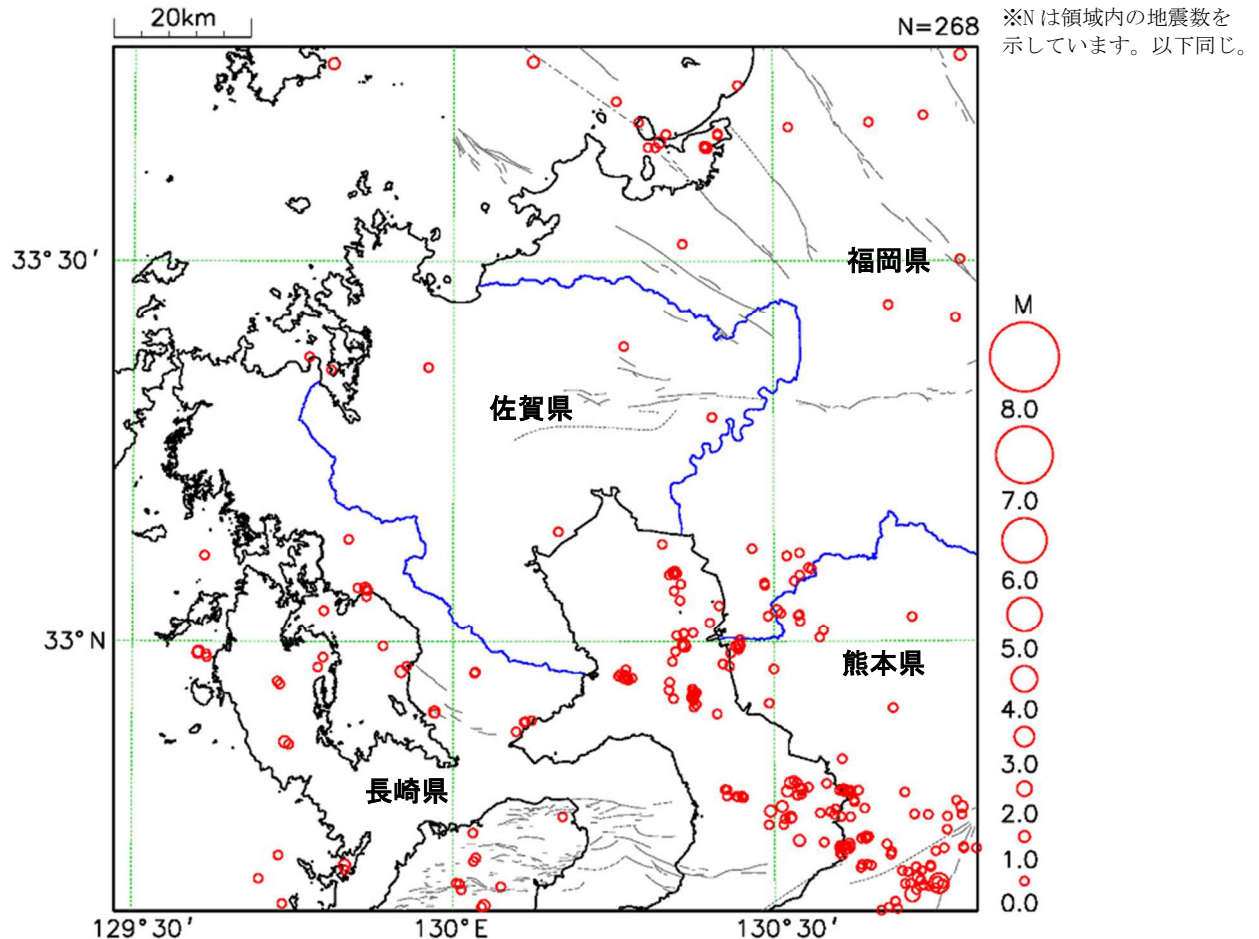


図 1 震央分布図（2025 年 2 月 1 日～28 日、深さ 30km 以浅、 $M \geq 0.0$ ）
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

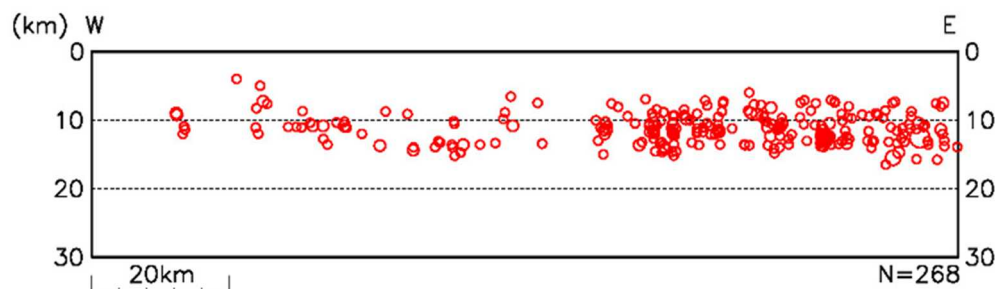


図 2 断面図（2025 年 2 月 1 日～28 日、深さ 30km 以浅）
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

「福岡県西方沖の地震から 20 年」特設サイト

福岡管区気象台は、2025 年が福岡県西方沖の地震から 20 年という節目の年にあたることから、「福岡県西方沖の地震から 20 年」特設サイトを開設しました。今回は、この特設サイトを紹介します。

※「福岡県西方沖」は地震発生当時の震央地名であり、現在は「福岡県北西沖」に変更されていますが、当時を振り返る観点から「福岡県西方沖」と表記します。

● 福岡県西方沖の地震とは

2005 年 3 月 20 日 10 時 53 分に福岡県西方沖で M7.0 の地震が発生し、福岡県の福岡市、前原市（現在の糸島市）、佐賀県みやき町で震度 6 弱を観測したほか、関東地方から九州地方の広い範囲で震度 5 強～1 を観測しました。この地震により死者 1 人、重軽傷者 1,204 人、住家全壊 144 棟、住家半壊 353 棟、住家一部破損 9,338 棟などの被害が生じました（被害は総務省消防庁による）。

● 「福岡県西方沖の地震から 20 年」特設サイトについて

特設サイトでは福岡県西方沖の地震の概要や、地震・津波に対する日頃からの備え、当時の気象庁や気象台の対応などについてわかりやすく解説しています。モバイル端末で見やすい構成になっており、どこからでも気軽にアクセスできます。

この機会に当時を振り返るとともに、地震への備えや地震発生時の行動について考えてみませんか。



特設サイトトップページ

特設サイトの URL

https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/jikazan/20050320_seiho-oki/index.html